

小美玉市のダイヤモンド筑波



(表紙写真提供：(一社)小美玉観光協会)

「見つける。みがく。光をあてる。」この言葉は、小美玉市が目指す輝かしいまち“ダイヤモンドシティ”の実現に向けた合言葉です。

小美玉市内の霞ヶ浦湖畔から望む「ダイヤモンド筑波」は、その合言葉を象徴する景色と言えます。西の空が茜色に染まりはじめる夕刻、世界を1日照らし続けた真っ赤な太陽が筑波山の山頂へと吸い込まれながら、同時に、霞ヶ浦の湖面に一筋の光の道を創り出します。この神秘的な光景は見る人に大きな感動を与え、心を優しく鎮めてくれることでしょう。

「ダイヤモンド筑波」を見ることができるのは、年に2度、夏至を挟んだ5月中旬と7月中旬のみです。通常、5月は午後6時頃から夕陽が傾き始め、山頂にかかるのは午後6時半頃とされています。

「ダイヤモンド筑波」と聞くと、筑西市の母子島遊水地の景色を思い浮かべる方も多いかもしれません。しかし、同じ「ダイヤモンド筑波」でも、筑西市では筑波山から昇る朝日、一方、小美玉市では筑波山に沈む夕陽という違いがあります。

また、小美玉市では、「ダイヤモンド筑波」をモチーフにしたカラフルなロゴマークをあしらった愛らしい婚姻届を作成するなど、市のプロモーションにも活用しています。

この5月、ご家族・ご友人とともに、微かに聞こえる霞ヶ浦の波音をBGMに、年に2回の貴重な瞬間を求め、霞ヶ浦湖畔で神秘的な光景を追いかけてみてはいかがでしょうか。



◆場所：茨城県小美玉市霞ヶ浦湖畔
下玉里平山付近

◆アクセス：

【車】常磐自動車道「千代田石岡IC」より、
国道6号経由で約20分

【電車】JR常磐線「高浜駅」より、タクシーで約10分